

【児童発達支援自己評価表（保護者様向け）】 令和6年2月配布（4月公表予定）

児童数20名 回収数20 割合100%

児童発達支援にじいろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19			1	・庭などもあり、楽しく走り回ったりストライダーをしたり砂場で砂を触ったり室内でもブランコをしている
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18			2	・とても適切である
	③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境 i) になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18			2	・されている
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	20				・なっている
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画が作成されているか	20				・とても細かく分析された支援計画が作成されている
	⑥	児童発達支援計画 ii) には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	19	1			・話しが入っていないときは絵を使ってくれたり、周りが気になり集中できないときは個別の部屋で伝えてくれたり、具体的な支援がされている
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援がおこなわれているか	19			1	・成長や発達に合わせて支援の仕方も変えていってくださっていると思います。 ・行われている
	⑧	活動プログラム iii) が固定化しないよう工夫されているか	19			1	・いつも新しいことや大切なことなどうまく工夫されている
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14			6	・一緒に外遊びをしたり、行事によっては保育園の方へ1日行ったり、うまく活動できている (対応：時々保育園のお子さん達と一緒に遊ぶ機会があります)
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20				・されている
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20				・されている
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか iv)	17	2		1	・ペアレントトレーニングとは何か具体的に理解できていないので。(対応：保護者会でもご説明できる機会を増やしていきたいと思います) ・参加したときは保護者の方とも交流できとても勉強になった

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・対応
--	--	--------	----	---------------	-----	-------	--------

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	2			・できることが増えたりで嬉しい報告を聞けてこちらも成長できる。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19		1		・行われている
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	3	1	6	・支援されている
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子供や保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16			3	・家での困りごとや保護者の不安なども相談にのって、どうしていくか一緒に考えていただける
適切な支援の提供	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18			2	・なされている
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15			4	・自己評価の結果など直接説明もしてもらえる ・発信されている
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17			3	・注意されている
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生を想定した訓練が実施されているか	17			2	・毎日その日のことなど細かく説明してもらっています
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20				・避難など実践しているようで理解につながってくれている
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	17	3			・とても楽しみにしています。今日はどんな楽しいことがあるか、わくわくしてます
	㉓	事業所の支援に満足しているか	20				・先生やお友だちのことがとても好きみたいです。

（注釈）

i 「本人に分かりやすく構造化された環境」はこの部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など子ども本人に

分かりやすくすることです。

ii 「児童発達支援計画」は児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、おかれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供するうえでの留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達センターまたは児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方などを学ぶことにより、子供が適切な行動を獲得することを目標とします。